

航海士の仕事に理解

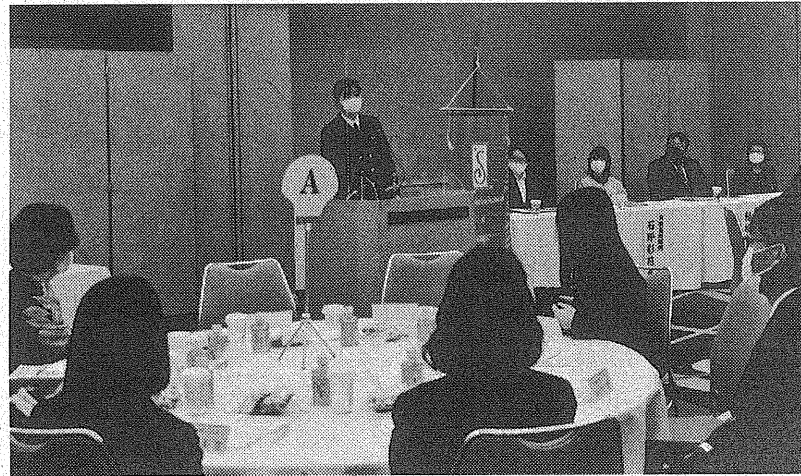
ソロプチミスト釧路 高校生招き茶話会

国際ソロプチミスト釧路（金谷眞紀会長）は17日、釧路プリンスホテルで「夢を拓く・女子中高生のためのキャリア・サポート」としてボランティア活動を実践している高校生らを招いて茶話会を開いた。3年ぶりの開催で、参加者らは、釧路海保の航海士の講話を聴講したほか、職場での女性の仕事ぶりをテーマに意見交換した。

（伊東義寛）

参加した高校生は釧路北陽高校、白糠高校と武修館高校のボランティア部の生徒たち。講師は、釧路海上保安部巡視船そやの神蔵秀圭主任航海士らが務め、巡視船の船内での業務について説明した。

巡視船の中での業務についての講話を聞く高校生ら



神蔵航海士らは、仕事の楽しさを紹介し「船上からの眺めはとても素晴らしい。皆さんと一緒に仕事ができたらうれしい」と話した。講話に続いてグループワークを行い、高校生らは

釧路海保の職員らに質問をして、理解を深めた。フリートークでは、釧路短大のボランティア部の学生も参加。それぞれのクラブがコロナ禍でも、工夫して活動したことを報告し

た。引き続き、釧路短大生のトーンチャイムの演奏で親睦会をスタート。テーブルマナーを学びながら、和気あいあいとした雰囲気の中で、食事の時間を楽しんだ。